

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立日新小学校

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成29年4月18日(火)

3. 調査の対象

小学校第6学年全児童

実施児童数 78人

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容(A問題)と、それらを活用する力などに関する内容(B問題)とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査(以下「児童アンケート調査」という。)を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査(以下「学校アンケート調査」という。)を実施する。

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(国語)

1. 全体の傾向

「A区分問題」

・平均正答数の分布状況は、全国とほぼ同じ状況である。

平均正答率(本校 75/泉佐野市 71/大阪府 72/全国 74.8)

「B区分問題」

・平均正答数の分布状況は、全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層が少なく、中位層がやや多く分布している。

平均正答率(本校 55/泉佐野市 53/大阪府 54/全国 57.5)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

国語A(問題数15問)	特徴がみられた設問
<p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】</p> <p>○目的に応じて、文章の中から必要な情報を見つけて読むことは概ねできている。</p> <p>3 学校新聞を書くために、資料から中心に読むとよい段落を選ぶ (79.5/74.4)</p> <p>○俳句の情景を捉えることにやや課題がある。</p> <p>4ニ グループの話し合いを通して、見つけた俳句の良さとして適切なものを選択する (71.8/57.0)</p> <p>○ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いることは概ねできている。</p> <p>5イ ことわざの使い方として適切なものを選択する(もちはもち屋) (88.5/83.6)</p> <p>○漢字を読む問題、書く問題は概ねできている。</p> <p>7(3) 申しこみ<u>期限</u> (94.5/96.2)</p> <p>(6) <u>指示</u> (91.0/94.5)</p>	<p>7(2) 4年生の<u>きぼうしゃ</u> (82.1/80.0)</p> <p>(5) 箱が<u>お</u>いてあります (80.8/76.8)</p> <p>○古文における言葉の響きやリズムを楽しみながら読むことにやや課題がある。</p> <p>6 歌舞伎の作品の一部を音読して気がついたことの説明として適切なものを選択する (66.7/71.1)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くことにやや課題がある。</p> <p>2一 書かれている内容の説明として適切なものを選択する (74.4/79.7)</p> <p>○手紙の構成を理解し、後付けを書くことに課題がある。</p> <p>2二 手紙の後付けに必要な日付、署名、宛名のそれぞれの位置ついて、適切なものを選ぶ (42.3/41.5)</p>

国語B(問題数9問)	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○動画を見る目的を捉えることを通して、目的や意図に応じ、適切な言葉づかいで話すことにやや課題がある。</p> <p>1一 スピーチの練習の様子を記録した動画を見る目的として、適切なものを選択する (74.4/77.2)</p> <p>○話の構成を工夫して話すことができるなどスピーチメモの良さを捉えることにやや課題がある。</p> <p>1二 話し合いの中で、スピーチメモを使うことによさについてどのように考えているかについて書く (71.8/69.2)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○目的や意図に応じて、話の構成や内容を工夫し、場に応じた適切な言葉遣いで自分の考えを話すことに課題がある。</p>	<p>1三 折り紙の魅力について、スピーチメモとグループの話し合いで出された意見を基に書く (34.6/48.4)</p> <p>○目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことに課題がある。</p> <p>2三 二つの条件を満たし、30字以上60字以内の水やりを募集する文章を書く (25.6/33.0)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○自分の考えを広げたり深めたりする為の発言の意図を捉えることに課題がある。</p> <p>3二 「きつねの写真」を読んだ後の話し合いにおけるア・イの発言の意図として、適切なものをそれぞれ選択する (24.4/28.0)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	55.2	60.5	◇	5.3
国語の勉強は大切だと思いますか	94.9	91.2		3.7
国語の授業の内容はよく分かりますか	92.3	82.2	○	10.1
読書は好きですか	68.0	74.3	◇	6.3
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	85.9	87.9		2.0
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	65.4	68.0		2.6
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	57.7	63.4	◇	5.7
国語の授業で自分の考えを書くと、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	78.2	74.8		3.4
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか（「最後まで解答を書こうと努力した」の割合）	75.6	77.2		1.6

- 「国語の勉強は好きですか」の質問については、全国に比べ下回っている。また、年々低い値になる傾向が見られる。
(H27:61.9 H28:59.6)
- 「国語の授業の内容はよく分かりますか」の質問については、全国に比べて高い値である。また、年々上昇している。国語の授業研究を行ってきた成果が伺われる。
(H27:78.6 H28:79.8)
- 「読書は好きですか」の質問については、肯定的な児童の割合が、ここ数年間全国を下回っており、低い値となっている。学校での「朝の読書」の時間が少なくなったことも影響しているのかもしれない。
(H27:65.4 H28:65.2)
- 「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の質問については、全国をやや下回っている。児童の意識改革が必要である。
(H27:79.7 H28:95.5)
- 「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」の質問については、全国をやや下回っている。「資料を読み取る力」をつけていく必要がある。
(H27:67.8 H28:56.1)
- 「国語の授業で意見などを発表するとき、上手く伝わるように話の組立を工夫していますか」の質問については、全国より下回っている。今後は、「自分の考えをまとめる力」、「発表する力」をつけていく必要がある。
(H27:59.5 H28:50.6)

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(算数)

1. 全体の傾向

「A区分問題」

・平均正答数の分布状況は、全国とほぼ同じ状況である。

平均正答率(本校 78/泉佐野市 76/大阪府 78/全国 78.6)

「B区分問題」

・平均正答数の分布状況は、全国とほぼ同じ状況である。

平均正答率(本校 44/泉佐野市 42/大阪府 45/全国 45.9)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

算数A(問題数15問)	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】 ○商を分数で表すことは概ねできている。 2(4) $5 \div 9$の商を分数で表す (79.5/69.2)</p> <p>○二つの数の最小公倍数を求めることはよくできている。 3 8と12の最小公倍数を求める (94.9/86.2)</p> <p>○小数の乗法の計算において、乗数を整数に置き換えて考えるときの、乗法の性質はよく理解している。 1(3) 60×0.4を、60×4を基にして考えるときの、正しい積の求め方を選ぶ (92.3/91.0)</p> <p>○1より小さい小数をかける乗法の問題場面を理解し、数量の関係を数直線上に表すことにやや課題がある。 1(2) 買ったリボンの長さと、1m当たりのリボンの値段と、代金が、それぞれの数直線上のどこに当てはまるかを選ぶ (59.0/69.9)</p>	<p>○加法と乗法の混合した整数と小数の計算をするにやや課題がある。 2(3) $6 + 0.5 \times 2$を計算する (57.7/66.6)</p> <p>【量と測定】 ○任意単位による測定についてはやや課題がある。 4 重さ、長さについて任意単位による測定を基に比較しているものを選ぶ (67.9/70.7)</p> <p>【図形】 ○立方体の面と面の位置関係は概ね理解できている。 7 立方体の展開図から、示された面と平行な面を選ぶ (79.5/86.7)</p> <p>【数量関係】 ○資料から、二次元素の合計欄に入る数を求めることにやや課題がある。 9(2) 二次元素の合計欄に入る数を書く (53.8/62.8)</p>

算数B(問題数11問)	特徴がみられた設問
<p>【数と計算】</p> <p>○示された考えを解釈し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを、図に表現することは概ねできている。</p> <p>1 (2) 示された考えを基に、54－45の場合で残る部分を図にする (82.1/81.8)</p> <p>○問題に示された二つの数量の関係を一般化して捉え、その決まりを記述することに課題がある。</p> <p>1 (3) 2けたのひき算の答えを求めることができるきまりを書く (33.3/38.6)</p> <p>○料金の差を求めるために、示された資料から必要な数値を選び、その求め方と答えを記述することに課題がある。</p> <p>2 (1) 小さい封筒で手紙を送る場合と大きい封筒で送る場合の、料金の求め方と答えを書く (38.5/40.4)</p> <p>○直線の数とその間の数の関係に着目して、示された方法を問題場面に適用することに課題がある。</p> <p>2 (2) 13本の直線を使う場合、手紙の用紙の長い辺を3等分するのは、何本目の直線と交わった点かを書く (32.1/27.4)</p>	<p>【量と測定】</p> <p>○仮の平均を用いた考えを解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述することに課題がある。</p> <p>3 (2) 仮の平均の考えを活用して、測定値の平均を求める (20.5/26.1)</p> <p>【数量関係】</p> <p>○示された式の中の数の意味を、表と関連付けながら正しく解釈し、それを記述することに課題がある。</p> <p>4 (1) 示された式の中の数が表す意味を書き、その数が表のどこに入るかを選ぶ (33.3/39.8)</p> <p>○割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶことに課題がある。</p> <p>4 (2) 学年全体の人数に対するハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数の割合を表しているグラフを選ぶ (20.5/29.3)</p> <p>○身近なものに置き換えた基準料と割合を基に、比較料を判断し、その判断の理由を記述することに課題がある。</p> <p>5 (2) 与えられた情報から基準料比較料割合の関係を捉え、答えを選び理由を答える (15.4/13.2)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	68.0	65.9		2.1
算数の勉強は大切だと思いますか	94.8	92.0		2.8
算数の授業の内容はよく分かりますか	88.5	80.6	◇	7.9
算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	75.7	75.7		0
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	85.9	81.1		4.8
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	64.1	69.1	◇	5.0
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	87.1	89.1		2.0
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	79.5	81.4		1.9
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	84.6	82.6		2.0
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	87.2	86.0		1.2
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか (「最後まで解答を書こうと努力した」の割合)	73.1	69.9		3.2

- 「算数の勉強は好きですか」の質問については、全国よりやや上回っている。(H27:72.6 H28:68.5)
- 「算数の授業の内容はよく分かりますか」の質問については、全国に比べて高い値である。少人数指導の効果が現れているように思われる。(H27:83.3 H28:82.0)
- 「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか」の質問については、全国よりやや上回っている。また、昨年度の本校児童の値より6ポイント程度上昇した。普段の授業で色々な解き方を工夫する取り組みの効果が現れているように思われる。(H27:78.6 H28:79.8)
- 「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」の質問については、全国に比べ低い値であり課題がある。数学的思考を日常生活と結びつける授業内容にする必要がある。(H27:69.1 H28:61.8)
- 「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の質問については、全国とほぼ同じ値である。(H27:84.5 H28:95.5)
- 「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか」の質問については、全国とほぼ同じ値である。本校児童の値は年々上昇している。今後も数学的理論を踏まえた授業を進めていきたい。(H27:76.1 H28:80.9)
- 「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか」の質問については、全国とほぼ同じ値である。今後も、ノートの書き方指導を向上させたい (H27:79.8 H28:74.2)

平成29年度全国学力・学習状況調査の分析(児童質問紙より)

児童質問紙調査より,本校児童の意識調査を4択(1.当てはまる 2.どちらかといえば当てはまる 3.どちらかといえば,当てはまらない 4.当てはまらない)で選ぶものについては,選択肢1と2は同じ肯定的な回答と捉えて回答率を示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	<p>○朝食の摂取や起床時刻就寝時刻など規則正しい生活習慣は身につけている。</p> <p>○スマホの操作やテレビゲームに費やす時間が全国に比べて長い。</p> <p>○地域行事への参加率やボランティア活動への参加率は全国に比べて低い。</p>	<p>○毎日,同じくらいの時刻に起きていますか (89.7/91.2)</p> <p>○平日,どれくらいの時間,携帯電話やスマートフォンで通話やメール,インターネットをしますか 3時間以上の回答 (14.1/7.0)</p> <p>○テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか (51.3/58.3)</p> <p>○今住んでいる地域の行事に参加していますか (39.8/62.5)</p> <p>○地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか (26.9/35.4)</p>
【家庭学習の様子】	<p>○自分で計画を立てて勉強することや学校の授業の復習をしている割合は全国に比べて低い</p> <p>○2時間以上家庭(学習塾・家庭教師も含む)で学習している割合は全国よりも高い。</p>	<p>○家で,自分で計画を立てて勉強をしていますか (52.5/64.5)</p> <p>○家で,学校の宿題をしていますか (100/96.9)</p> <p>○家で,学校の授業の復習をしていますか (43.6/53.8)</p> <p>○学校の授業時間以外に,平日,2時間以上,勉強している割合(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む) (37.1/27.1)</p>
【学校での生活や学習の様子】	<p>○「学校に行くのは楽しいか」の問いでは全国を少し下回るものの,学校生活全体では概ね楽しく肯定的に受け止めている。</p> <p>○総合的な学習の時間には課題解決や発表等に取り組みの改善が必要である。</p>	<p>○学校に行くのは楽しいと思いますか (84.7/86.3)</p> <p>○学校で,友達に会うのは楽しいと思いますか (96.1/96.4)</p> <p>○学校で,好きな授業がありますか (93.6/93.0)</p> <p>○学級の友達との間で話し合う活動を通じて,自分の考えを深めたり,広げたりすることができていると思いますか (68.0/68.2)</p> <p>○「総合的な学習の時間」では,自分で課題を立てて情報を集め整理して,調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか (44.9/69.8)</p>
【自己肯定感】	<p>○「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の問いでは全国を少し上回るものの,成功体験の少なさや自尊心の低さがうかがわれる。学校においても自尊心を高める取り組みが必要である。</p>	<p>○自分には,よいところがあると思いますか (71.8/77.9)</p> <p>○ものごとを最後までやり遂げて,うれしかったことがありますか (89.7/94.8)</p> <p>○将来の夢や目標を持っていますか (79.4/85.9)</p> <p>○難しいことでも,失敗を恐れずに挑戦していますか (64.1/77.4)</p> <p>○人の役に立つ人間になりたいと思いますか (94.9/92.5)</p>

本校の取り組み

◎これまでの取り組み

昨年度まで本校では、児童の学力実態を踏まえ、「自分の考えをもち伝え合うコミュニケーション能力の育成」を研究主題として、4年間、国語科を中心に研究授業や公開授業等を行い教員の授業力の向上に取り組んできました。

少人数による個に応じたきめ細かな指導や基礎・基本を徹底した学習や子どもたちの学習態度を養っていくための学習規律の徹底などの取り組みも進めてきました。

家庭学習の定着を目的とした「宿題ばっちりウィーク」を実施し、家庭の協力を得るための取り組みも進めてきました。

今年度の全国学力調査の国語においては、大阪府の平均正答率を上回ったものの、各教科において多くの課題が山積しています。

また、「自分にはよいところがある」と思っていない児童がおよそ3割もいるという数年来の課題があります。自尊心や自己有用感が低い実態を踏まえ、高学年では地域の福祉委員会と連携した「独居高齢者友愛訪問活動」。低学年では「自分のよいところ見つけ」などの活動をより充実させる必要があります。

◎これからの取り組み

本校では、平成29年度全国学力・学習状況調査の分析結果を基に、主に次に示すような点を中心に課題克服に向けて取り組んでいきたいと考えます。

国語

4年間、国語科の研究を進めてきた成果として、授業内容がよく分かり、ペアやグループでの意見交流もできるようになってきています。今後は、算数科と同様に、題意を読み取り自分で問題に向き合う時間を十分に取り入れていきます。

また、意見交流の場では、相手の意見につけたしたり、違う意見を述べたりする際、どこからそう考えたのか根拠を話す(書く)習慣づけをしていきます。そして、総合的な学習の時間や行事、委員会活動に取り組む中でも、身近な自分たちの生活を見つめ、複数の資料やデータから、必要な情報を集め、意見をまとめる取り組みをしていきます。

「書くこと」については、日々の授業の振り返りや日記を書く指導の継続に加え、作文指導の充実や読書時間を確保していきます。

算数

基礎的な計算力については、日々の授業や宿題などで定着を図っていますが、学習しているときはできている、期間を空けると忘れてしまっている児童が少なくありません。そこで、朝の学習や自学の取り組み方を見直し、学年・研究推進委員会で、これまで習った計算をおりませながら、復習できるミニプリント、自学の手引きを作成し活用していきます。

また、算数科は、前までの学年で習ったこと(既習事項)が、新しい学習の土台となるため、前年度までの学習のつながりがわかるプリントを作成して積み重ねていきます。昨年度から全校的に始めたつまずきテストの結果を分析し、実態に応じた習熟の時間を確保していきます。

授業では、これまでの学習を振り返り、活用できるまとめノートの作り方の指導を、学年・研究推進・少人数指導担当を中心に研究していきます。また、自分で問題に向かう自力解決の時間、相手に自分の考えを説明する活動、学級で意見を交流しながら自分の考えをまとめていく時間を確保していきます。